

札幌市立
手稲西中学校
学校だより
第14号



令和8(2026)年
3月25日
発行
無断転載を禁ず

新年度に向けて前を向く (修了式の話から抜粋)

校長 塚本 慈彦

先日行われた卒業式は、本当に素晴らしい式になったと思います。3年生にとって、小学校・中学校と歩んできた9年間の経験や成長をしっかりと噛みしめ、新しい環境に旅立つ区切りとなる感動的な最後の発表の場になりました。そして、その中で1年生、2年生の心のこもった合唱や姿勢が卒業式を陰から支え、最高の舞台をつくってくれたのだと感じています。本当にありがとうございました。皆さんの力があってからこそ、感動的な式になりました。

また、卒業式の最中に、式に臨む皆さんの姿を見ていて、とても心強く感じました。1年生の皆さんは、一生懸命に式の準備や合唱に取り組み、4月に入学した頃よりもずっと遅しく、頼もしさを感じました。2年生の皆さんを式の最中に見ていて、「凄いな2年生」と思う場面がありました。練習の時からどんどん合唱のレベルが上がって表情がよくなっていくのを見て、「3年生の卒業への思いを感じ取って頑張ろうとしているんだなあ」と思いましたし、「3年生のためにふさわしい場をつくろう」としているのも伝わってきました。2年生の皆さんは『気持ちを感じ取る力』や『察する力』がすごく長けているなあ、いつの間にこんなに成長したのだろう」と感心しました。また、それを行動に移せることも頼もしく感じました。

2週間後に再びこの校門をくぐる時、皆さんはそれぞれ2年生、3年生になります。しかし、今の皆さんの姿を見てみると、もうすでに次の学年に相応しい顔つきになっていると感じています。4月に新しい1年生を迎えたとき、立派な先輩としてこの学校を引っ張っていてくれるのではと期待しています。

ここで野球のWBCの話をしたいと思います。卒業式の2日後に、日本対ベネズエラのベスト8の試合があり、途中から日本ハムの伊藤大海選手がマウンドに上がりました。残念ながら、逆転3ランを浴びて、負け投手になってしまいました。その後、伊藤大海選手には、SNSで誹謗中傷と受け取られるコメントが書かれたのですが、「…こういう結果になった以上、誰かしらこういう立場になっていたと思うので、それが僕でよかったかなとは思っている」と語っているのです。強い人だなあと思いましたが、17日には、もう日ハムの練習に参加しているニュースが流れていて、切り替えて前を向いている様子が伺えました。実は、伊藤選手は大学入学した時も、東京の駒澤大学に入学して1年過ぎたのちに、もっとできることがあるかもしれないと考えて苫小牧の駒澤大学に入り直しています。自分の未来の姿を見て、前を向くのが上手な方なのだと思います。どんな逆境にあっても前を向く大切さを皆さんにも伝えたいと思ってお話ししました。

話を春休みと新学期のことに移しますが、最初に話したように、もう皆さんには、次の学年としての土台ができていると思っています。あとは、何が必要かを考えると、2年生、3年生としてやっていこうとする心構えや新しく再スタートを切っていこうとする前向きな気持ちなのだと思います。

明日からの春休みは、次の学年に向けて「前向きな気持ち」をつくる時間にしてください。2年生、3年生としての自分に自信を持って、また4月の始業式に元気に会いましょう。

1年間の成長 (修了式 生徒代表の挨拶から)

1年1組 ○○ ○○

この1年間の振り返ると、長いようであつという間だったと感じます。入学したばかりの頃は、先生方のことも誰一人分からず、新しい環境に不安を感じていました。しかし、毎日の学校生活の中で少しずつ慣れてきていき、今ではその不安もなくなりました。

前期は、自分から考えて行動することや、続けることの大切さを学びました。きっかけは、自分に合った勉強法を見つけようと意識したことです。テスト前には、解説動画を見ながらワークを進めるなど、自分なりに工夫を重ねました。思うように結果が出ず、悩むこともありましたが、自ら試行錯誤を続ける中で、自分に合った学びを見つけることができたと思います。

後期は、その経験を生かして、周りの人に勉強を教えることもありました。人に教えることで、自分の理解が深まる



ことに気付き、学び方に対する意識も変わったと感じています。こうした変化は、学習面だけではなく、行事を通じた交流でも現れました。後期には、西フェスやイムスへの訪問、卒業式練習など、他学年や地域と交流する機会が多くありました。こうした活動を通じて、グループ内での協力や、自分から行動することの大切さを学ぶことができました。さらに、イムスへの訪問では地域の方々笑顔に触れ、自分の行動が誰かの役に立つ喜びを知ることができました。

こうして成長できたのは、先生方や友達の支えがあったからだと思います。2年生ではこの経験を生かし、より主体的に行動することを意識していきたいです。次は、自分たちが後輩を引っ張っていく番だという自覚をもち、苦手なことにも逃げずに向き合い、最後までやりきる力を身に付けていきたいと思います。



離任・退職する教職員の紹介

教頭 池田 恵美 (新川中学校へ)

手稲西中学校の生徒の皆さんは、とても素直で、その素直さは多くのことを吸収できる大きな力だと感じてきました。これからも様々なことを経験し、自分で考え、周りの人を思いやりながら、豊かに学び続けてください。一人一人のこれからの成長を心から願っています。保護者の皆様には、日頃より温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。お世話になりました。

教諭 K先生 (日章中学校へ)

3組の担任として担当生徒の入学から卒業までの3年間勤務し、3名の生徒と濃く学習できたことは教員人生の宝物です。福祉局や吹奏楽部の活動も忘れられません。生徒の皆さん、手稲西中でしかできない活動で自分を高く深く成長させてください。保護者の皆様、各方面でのご理解ご協力、本当にありがとうございました。

教諭 I先生 (藻岩高校へ)

初めての中学校勤務で不安もありましたが、西中の生徒の皆さんの笑顔と人懐っこさに、その不安はすぐに吹き飛びました。英語に後ろ向きだった生徒たちが「授業が楽しい！もっと頑張りたい！」と目を輝かせてくれたこと、皆さんと過ごした日々は、かけがえのない宝物です。離れていても皆さんのことを応援しています。

学びのサポーター兼相談支援パートナー Sさん (退任)

3月をもちまして退任することになりました。11年間西中にお世話になり、多くの生徒や保護者の皆様、また教職員の方々や接し、たくさんの思い出をつくることができました。心から感謝しております。11年前の生徒さんはもう親御さんになっている人もいますね。そう思うと本当に長い間西中に通っていたんだなと感慨深く思います。ありがとうございました。

学校司書 Mさん (退任)

手稲西中学校には、昨年の7月1日から学校図書館の司書として勤めさせていただきました。自宅が東区の為、遠距離通勤となり、冬道では難儀したこともありましたが、無事に任用期間を終えることができました。この間、たくさんの生徒の皆さんに図書館を利用してもらいました。これからは手元に本がある生活を送ってもらえたらと思います。お世話になりました。

地域学校協働活動推進員 Uさん (退任)

役割は違いますが、同じ学校に2回勤務でき、嬉しかったです。校舎の色、トイレ、玄関の校章、その他どこも懐かしく当時が思い出されました。そして、変わらぬ地域とのつながり、温かく誠実な方々との行事、その素敵なお一つ一つに心が洗われる日々でした。ただただ感謝です。機会があればまたお会いしましょう。どうぞ皆さんお元気で！

福祉補助員 Hさん (稲積中学校へ)

3年間お世話になりました。生徒の皆さんと直接関わることは少なかったですが、いつも大きな声で挨拶をしてくれて、一生懸命な姿にこちらが元気をもらっていました。これからはそれぞれのペースや健康が守られて、楽しい学校生活を過ごせるよう心から願っています！ありがとうございました。

部活動指導員 Iさん (退任)

4年間、吹奏楽部の顧問として大変お世話になりました。生徒たちが仲間と一つのものをつくり上げる中で、自分を見つめ、成長していく姿を間近で見られたことを本当に幸せに思います。こうした経験が、彼らの将来の自己実現につながることを心から願っております。温かいご支援、誠にありがとうございました。

4月行事予定 (抜粋)

8日	着任式・始業式	22・23日	3年全国学力・学習状況調査
9日	入学式	24日	前期生徒会認証式
10日	給食スタート	28日	授業参観・学級PTA
13日	学級写真撮影		PTA総会・体文振総会
15日	全学年学力テスト	30日	身体測定
16日	新入生歓迎集会 ワーク販売 (朝 体育館)		※詳細は、4月8日に配付いたします。